

## CLARITY を全面的に支持



[Steven Hentges, Ph.D](#)

2018年5月2日 (水) [SAFETY](#)

レストランや新しい映画に行く前に、あなたが信頼する情報源からのレビューをチェックすることがありますよね。なぜでしょうか？ レストランや映画の批評家は最高の食べ物やエンターテインメントを見つけることで生計を立てているので、皆さんはあえて不愉快な経験をする必要はないのです。

似たようなことがピアレビュープロセスを伴う科学で起きます。このプロセスでは科学的成果の質と信頼性を保証するために、専門科学者等が他の科学者の仕事を批判的に評価します。研究がピアレビューを受けていなかった場合、結果を信頼できるかどうかはどうすればわかりますか？

BPAの安全性に関し残っている不確実性を解決するため、FDAの国家毒性研究センターの上席研究員が行ったCLARITYコア研究の科学的なピアレビューに伴って似たようなことが起きたことは、これを説明する良い例でしょう。この研究の規模と範囲は、BPAの実験動物への一生涯の曝露を含み、空前絶後のものです。

この研究結果は、[CLARITY-BPAプログラム](#)(BPAの毒性に関する学問的及び規制上の見識に関連するコンソーシアム)の一環としてこの研究に資金を提供した米国国家毒性プログラム(NTP)により報告書案として2月に発表されました。全体的に、人々が一生涯を通じてBPAに曝露したとしても、健康影響を引き起こす可能性はほとんどないことをこの結果が示しています。

[報告書案](#)の結論に述べられているように、「BPAはバックグラウンドと区別可能な最小限度の影響を生じました。」 研究の質およびその結論の信頼性を検証するために、NTPは6つの独立した専門科学者等のパネルによる[ピアレビュー](#)を組織しました。科学者等はCLARITYコア研究に関連する専門知識を持っていましたが、BPAに関する既往の研究結果と矛盾はなかったので、NTPが科学者たちを選びました。

報告書案が2月に発表されたので、専門家等は一般の人々が提出した全てのコメントとともに、完全な報告書案を受け取りました。2か月の審議期間の後、ピアレビューパネルは、4月26日に公開フォーラムで会合を行い、レビュー結果を議論し、意見を述べたいと望む外部の参加者の意見を聞きました。

その会議では、ピアレビューパネルは、最初に研究を実施したFDAの科学者からのプレゼンテーションを聞き、その後パネルメンバーは疑問を明らかにするため質問を行う機会を得ました。概して、[ピアレビューパネルは](#)、研究設計と実施、および結果を解析するために使用した統計手法を支持しました。

ピアレビューパネルは、報告書案に含まれる重要な結論を批判的に評価し、結論を改善し、強化するための思慮に富んだ勧告を提案しました。これらの勧告は、FDAおよびNTPの上席研究員らが慎重に検討し、必要に応じて、8月までにリリースされる予定の最終報告書に組み込まれる予定です。並行して、研究結果は今年後半に科学文献に発表する予定です。

将来のBPAの安全性評価に於いて、世界中の政府機関がCLARITYの研究結果を使用すると期待されています。すでにFDAが既にそのプロセスの口火を切りました。報告書案とともに発表された[声明](#)では、米国食品医薬品局(FDA)食品動物用医薬品部副長官のStephen Ostroff博士は次のように述べています。

*「初期レビューでは、現在認められたBPA使用法は引き続き消費者にとって安全であると言う我々の決定を支持しました。」*